

梅雨について

1 梅雨とは？

2 発生原因は

3 梅雨期の経過と特徴

4 梅雨前線による災害

1 梅雨とは …

※ どこでみられる現象か？

日本、中国の華南・華中沿岸部、台湾、朝鮮半島南部など

※ 梅雨現象の特徴

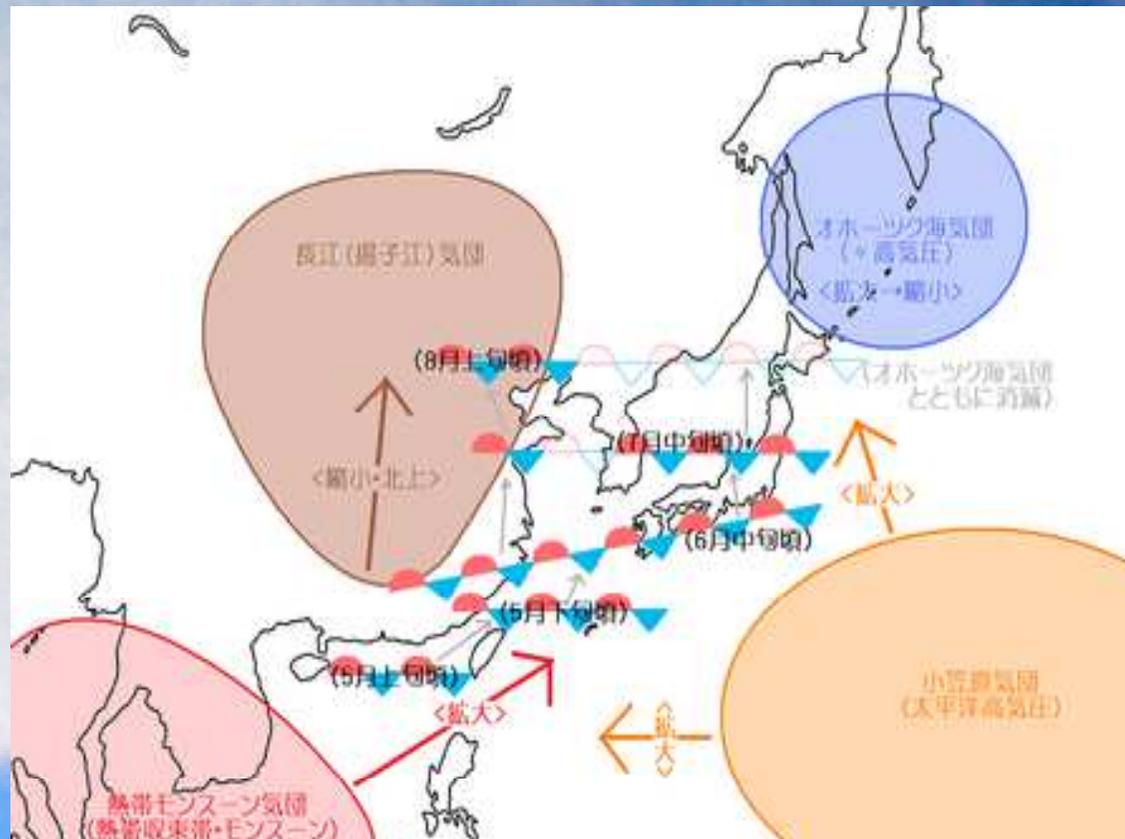
世界中で見られる“雨季”の一種

梅雨期間は4～50日

西や南に行くほど雨量が多くなる

梅雨末期には集中豪雨

2 発生原因は ...



梅雨期の周辺気団

揚子江気団

オホーツク海気団

熱帯モンスーン気団

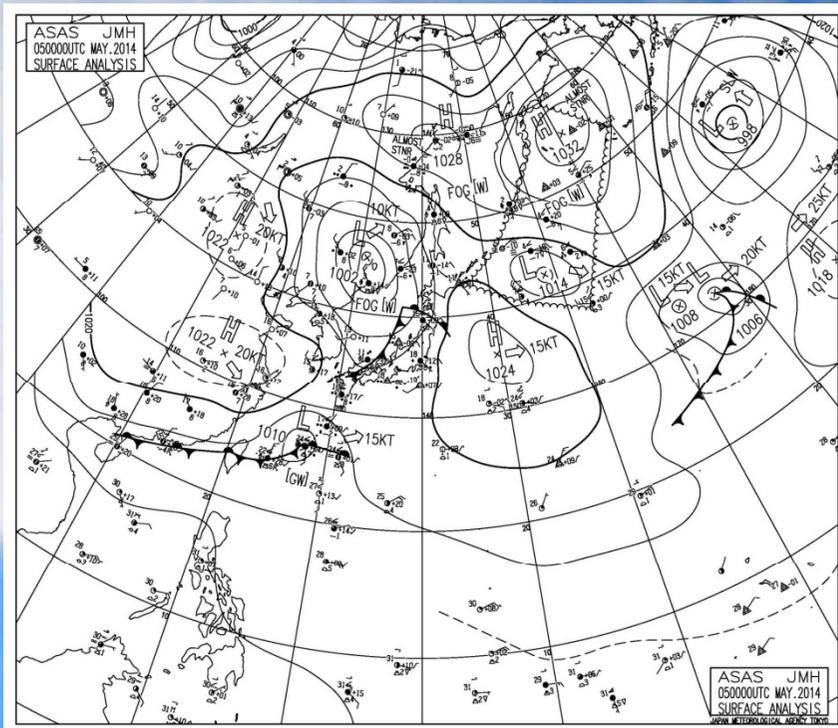
小笠原気団

各気団の境目が梅雨前線となる！

3 梅雨期の経過と特徴

梅雨初期(次第に明瞭化)

今年5月5日09時地上天気図

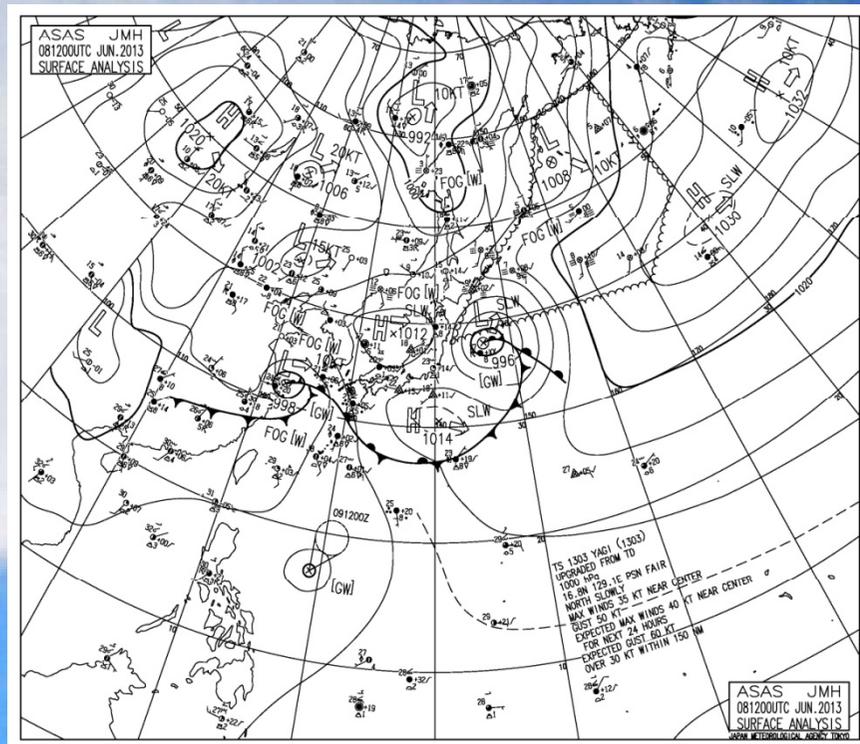


熱帯モンスーン気団が勢力を増し、北の揚子江気団とせめぎあうようになり、南シナ海付近に梅雨前線が形成されるようになる。

5月上旬、沖縄や奄美地方が梅雨入りし始め、5月下旬～6月上旬にかけて前線の北上により九州や中国、四国が前線の影響下に入り始める。

梅雨前線の北上 (北海道を除き全国梅雨入り)

昨年6月8日21時地上天気図



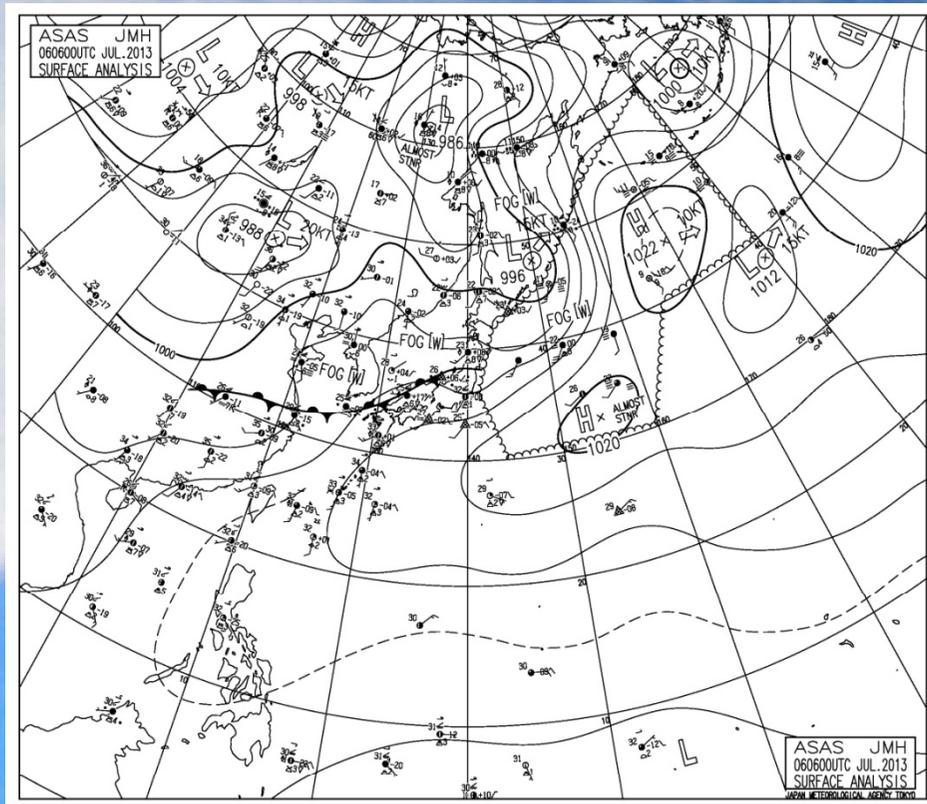
6月中旬には東北地方まで梅雨入りとなり長雨が続く。

7月半ばになると、上空の空気の流れが北上し、太平洋高気圧に覆われ梅雨明けとなる。

梅雨末期の大雨

梅雨前線による豪雨

水蒸気を多量に含む下層大気が、停滞する梅雨前線に向かって持続的に流れ込んだり(湿舌)前線上を低気圧が東進し、これに向かって湿潤な気流が流れ込んで起きる。



梅雨についての閑話少々

梅雨入りと梅雨明けの決め方など

九州北部の梅雨期間の最短と最長記録

気象に関するテーマ

- 1 観測関係
地上・高層・海洋(潮汐や観測船)・気象衛星・測器etc
- 2 予報関係
数値予報・天気図・予想資料・注警報等情報etc
- 3 地球環境
気候変動(温暖化)・エルニーニョ・オゾン層・紫外線etc
- 4 地震・津波
観測体制・情報etc
- 5 火山
観測体制・情報etc
- 6 気象現象
台風・竜巻・低気圧・黄砂etc
- 7 災害全般
- 8 気象学全般

